

2024年10月29日  
SCSK株式会社

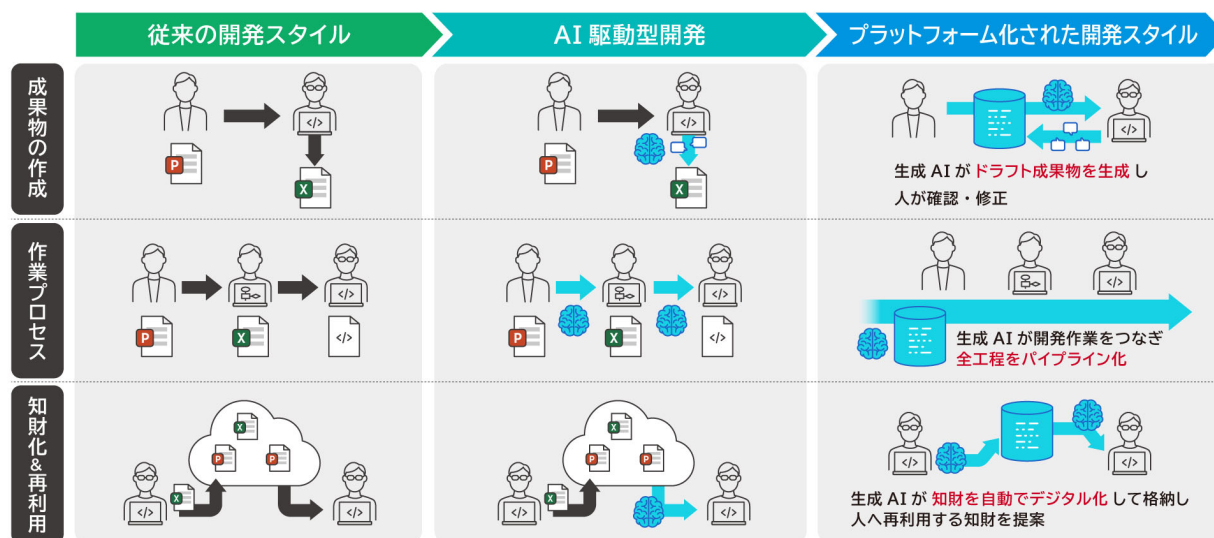
## システム開発での生成 AI の活用を最大化する AI駆動型開発プラットフォーム化に関する概念実証を開始

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、SCSKグループの技術戦略「技術ビジョン 2030」を策定し、先進デジタル技術の価値をお客様に還元するために「デジタルオフリング集団への変革」への取り組みを進めています。その一環として、システム開発における生成 AI の活用を最大化する「AI 駆動型開発」のプラットフォーム化に関する概念実証を開始します。

### 1. 「AI 駆動型開発」プラットフォーム化の背景と目的

システム開発および保守の現場において、生成 AI はさまざまな業務を補完し、効率化する手段として活用されており、少子高齢化に伴う IT 技術者不足やシステム内でブラックボックス化した業務仕様を抱えているお客様の課題を解消するものとして期待されています。しかし、これから生成 AI を最大限に活用するためには、単なる生成ツールとして利用した部分的な作業の効率化に留らず、組織レベルでの生産性を向上させる点と、情報漏洩などのセキュリティリスク、権利侵害などのコンプライアンスリスク、特定の生成AIへ過度に依存してしまうリスクなど、企業としてさまざまなリスクを適切に管理する点の2つを両立して高めていく必要があります。

SCSKでは、生成 AI を最大活用する「AI 駆動型開発」を組織的に利用できるプラットフォーム化を進め、成果物や開発工程のパイプライン化、システム仕様や業務情報を含む成果物の知財化を行う事により、組織レベルでの包括的な課題解決に向けた概念実証を行います。



### 2. AI 駆動型開発プラットフォームについて

AI 駆動型開発プラットフォームは、プロンプト実行機能、生成機能、および成果物格納機能(データストア)の3つの主要な機能を持ち、開発者向けユーザーインターフェースも含む開発環境として位置付けています。

・プロンプト実行機能

生成機能の使用方法をサポートするプロンプトなどのノウハウを組み込んだ実行制御機能を用意し、生成 AI の効果的な活用を支援します。

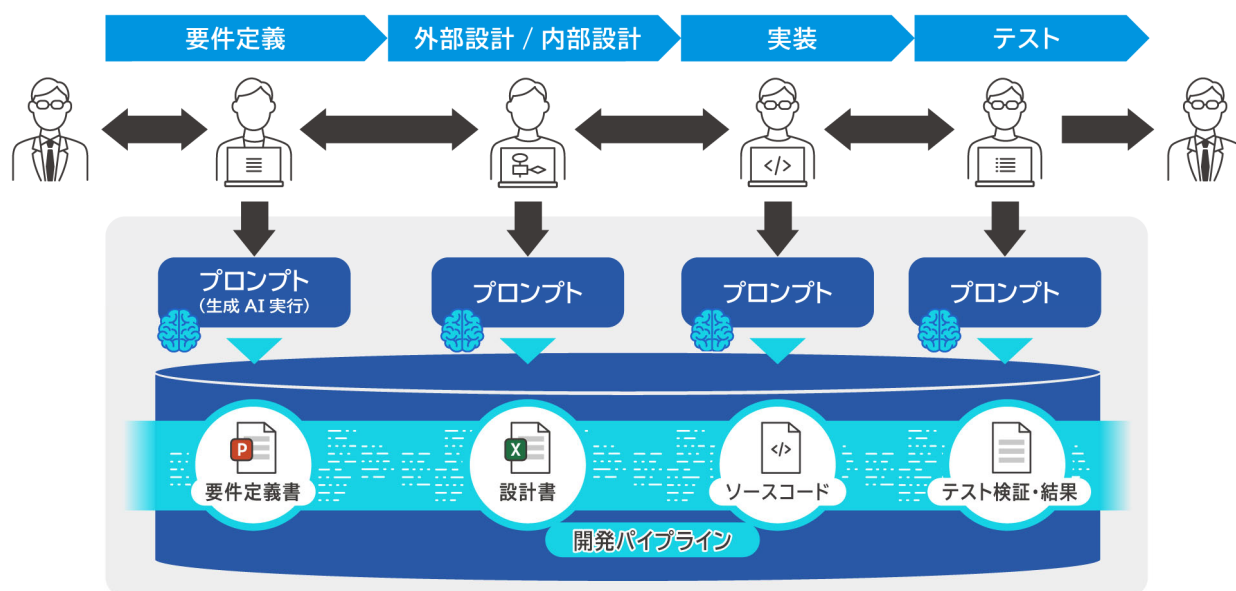
・生成機能

プロンプトに従い生成 AI が成果物を生成、開発者が確認可能な成果物を提供します。開発工程全体を通して、生成 AI が情報の整合性を担保し、一貫性のある品質を確保します。

・成果物格納機能(データストア)

生成結果(成果物)を生成 AI が取り扱やすいデジタルデータとして格納、生成された成果物を一括して管理・再利用可能とするレポート機能等を有します。

これらの一連の仕組みにより、生成 AI に関するさまざまなリスクを回避し、開発者の負担を低減します。



AI駆動型開発プラットフォームのイメージ

### 3. 今後の取り組みについて

SCSKにおける「AI 駆動型開発」への転換を速やかに進めるために、概念実証でのフィードバックをもとに、さらなる有用性の向上を図り全社適用を推進していきます。

また、ガートナーは2024年の戦略的テクノロジーのトップ・トレンドの1つとして、「プラットフォーム・エンジニアリング」を挙げています<sup>※</sup>。当社が進める「AI 駆動型開発」のプラットフォーム化は、この「プラットフォーム・エンジニアリング」を具現化するものであり、開発者のエクスペリエンスを高める効果もあります。この取り組みを通じて当社グループの人的資本の最大化にも繋げていきます。

※ Gartner®, 2024 年の戦略的テクノロジーのトップ・トレンド, 2024 年 2 月 4 日,

<https://www.gartner.co.jp/ja/articles/gartner-top-10-strategic-technology-trends-for-2024>

GARTNERは、Gartner Inc.または関連会社の米国およびその他の国における登録商標およびサービスマークであり、同社の許可に基づいて使用しています。All rights reserved.

## **SCSKグループ技術戦略**

SCSKグループは、「共創 IT カンパニー」の実現に向けた取り組みを加速するための、技術戦略「技術ビジョン 2030」を推進しています。「技術ビジョン 2030」では、先進デジタル技術の最大活用による事業構造の変革（デジタルシフト）や生成 AI の活用による飛躍的な生産性向上の実現を目指すとともに、蓄積してきた知財を活用した製品・サービス開発を推し進め、お客様や社会、生活におけるさまざまな課題解決に対応していきます。

・SCSKグループ技術戦略「技術ビジョン 2030」

[https://www.scsk.jp/sp/technology\\_strategy/index.html](https://www.scsk.jp/sp/technology_strategy/index.html)

## **本件に関するお問い合わせ先**

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

技術戦略本部 戦略企画部

E-mail: [tsd-info@scsk.jp](mailto:tsd-info@scsk.jp)

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

サステナビリティ推進・広報本部 広報部 須田

TEL:03-5166-1150

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。